



令和5年(2023年)第21週 2023年5月22日(月)~2023年5月28日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報

●麻しん(はしか)について

麻しんに海外で感染した人が帰国後に発症したことにより、国内での麻しん患者の報告数が増えています。

麻しん(はしか)は急性発疹性のウイルス感染症です。感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。特別な治療法はなく対症療法が中心となります。空気感染もするので、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しんの一番の予防法は予防接種です。

流行地域に行ったり、周囲に麻しんに感染した人がいる人で、発熱、風邪症状、皮疹等の症状が出現した場合は、麻しんによる症状の可能性があります。病院で受診をする際には必ず事前に医療機関に連絡をしてください。また受診の際は感染が広がらないよう、可能な限り公共交通機関の利用を避けてください。

受診の際は①流行地域での滞在歴②麻しん含有ワクチン接種歴(麻しん単独ワクチン、MR(麻しん風しん混合)ワクチンなど)③麻しん罹患歴(過去にかかったことがあるかどうか)④麻しんにかかった可能性があることを伝えて下さい。

親子(母子)手帳がある人は確認を。任意接種希望の人はかかりつけ医に相談してください。

子どもの頃感染した記憶があっても、検査で感染確認以外は違う感染症の場合もあります。



年代による麻しんワクチンの定期接種の違い

生年月日	麻しんワクチン接種歴
1972年9月30日より前	接種していない可能性が高い ※1
1972(昭和47)年10月1日~1990(平成2)年4月1日	幼児期に1回接種
1990(平成2)年4月2日~2000(平成12)年4月1日	1回接種または2回接種 ※2
2000(平成12)年4月2日以降	2回接種 (生後12~24ヶ月に至るまでに1回、小学校就学前の1年間に1回)

※1 「風しんの追加的対策」の対象者(昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性)の方でMRワクチンを接種された方は、1回接種済になります。

※2 この年代の方は、期間限定の特例措置で中学1年生または高校3年生の時にMRワクチンの追加接種を受ける機会がありました。

厚生労働省ホームページ「麻しんについて」QRコード



定点 種別	期 間	2023年 20週		2023年 21週	
		5/15~5/21		5/22~5/28(最新)	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
C I N F L U E N Z A	インフルエンザ	61	2.44	43	1.72
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	44	1.76	67	2.68
小 児 科	RSウイルス感染症	5	0.31	3	0.19
	咽頭結膜熱(プール熱)	11	0.69	9	0.56
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	1.00	23	1.44
	感染性胃腸炎	129	8.06	100	6.25
	水痘(みずぼうそう)	0	0.00	0	0.00
	手足口病	4	0.25	1	0.06
	伝染性紅斑(りんご病)	0	0.00	0	0.00
	突発性発しん	14	0.88	7	0.44
	ヘルパンギーナ	24	1.50	34	2.13
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0	0.00	2	0.13
眼 科	急性出血性結膜炎	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	3	0.60	0	0.00
基 幹	細菌性髄膜炎	0	0.00	1	0.20
	無菌性髄膜炎	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	0	0.00	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0	0.00